

反省

①→寄り付近のスクヤ。①1回目はかなり良い位置でエントリーできた。6/22のS高した日の終値が6161円。ここで明らかに反発していきやすかった。1本目の足はまだサポートラインとして機能するか懐疑的だったためスルー。2本目の足で固いポイントだと確信しスクヤ狙いで取引。しかし、貫かれた場合は奈落の底までズドンが来ると想定して少しのリバで利確。そのあとはぐいぐい上昇していったが、それは自分には取れる動きではないため知らない。今日は上がったが、いつもぐいぐい上昇するとは限らない。寄り付き付近は損切幅を少なくできて確実に安全に取れるようになりたいから、スクヤしかやらないと決めているからこれで良い。

①2回目は、上値を確認することを慎重にやりすぎて少しエントリーが遅れてしまった。いったんの天井を付けたことを確認してエントリー。しかし、エントリーが遅れてしまった分損切幅が大きくなってしまい、微益利確となった。もう少しズドン下げが来てから利確したいものだが、損切幅が大きくなると自分を信じ切ることが出来ない。これは反応速度が1・2秒早ければズドン下げを取れていたと思う。

②→チャンス箇所であったが、慎重になりすぎて上髭を確認しようとしたら、いきなりズドン下げパターンだった。それでチャンス箇所ではエントリーできず、その後の下落が継続となるようであれば、損切幅が小さく値幅が期待できるポイントでエントリー。しかし、速攻で損切に。

③→チャンス箇所でエントリー。しかし、自分を信じる事が出来ず、ルール外の微益利確。最近まったくうまくいっていないため、大チャンスでエントリーかつ、相当上手くエントリーできてかつ、エントリーした瞬間にぶっ飛んでそのまま利確できる方向に下がり続ける動きをするくらいでないと、値幅を取りに行く取引は損切貧乏になっているから適度に反応があれば利確をしてしまう。どんな時でも値幅を狙わずに、エントリーした直後の反応を確認しながら、適度に利確することも負けないためには必要だなと感じている。自信はあったのだが、少しだけエントリーを早めてしまっ上に貫かれているから、上髭で切られるかもとビビってしまった。エントリーが完ぺきではなかったという証拠。

④→チャンス箇所でエントリーした。②で様子を見てエントリーが遅れて微益利確になったため、サイン確認後にすぐエントリーした。しかし、上値を冷静に確認しないといけないパターンで損切に。

その後、同じポイントでエントリーするも少し冷静さを欠いていた。1回目に損切となった時点で、上値を冷静に確認すべきだった。一回貫かれたときは、多少エントリーが遅れても構わないからしっかり自分の想定する動きになるかどうかを確認してから再度エントリーしないと、損切祭りを開催することになる。しかし、この3回目の損切で完全に負けを認めて、次のチャンスを待とうと冷静に切替れたことが良かった。以前の自分はこういう時に、損切した瞬間に利確できる方向に飛んで、悔しくて意固地になって熱くなって感情トレードからの大負けというパターンだった。それを断ち切れたのが良かった。

⑤→値幅は諦めて少しの反応で利確。これで良かった。値幅が伸ばせるような値動きでなかった。

⑥→トレンドが継続するとしたら大チャンスとなる場所ではあったが、エントリーが早かったのが良くなかった。エントリーを適切なポイントまで引き付けることが出来ていたら、損切額を少なくできた。それどころかエントリーを回避できた可能性もある。やはり適切に待つことはかなり大事。損切した後に意固地にならずトレンド方向が定まって、エントリーポイントが来るまで待とうという気持ちになれたことが良かった。

⑦→⑤と同様。実際にはトレンド転換していたが、エントリーを引き付けることが出来ているので、利確出来た。

⑧→損切額が少なく済むポイントでエントリー。明らかにトレンド転換しているところで目線を買目線に。少し買目線に変更するのが遅れた。

買目線に転換してからは、ロングのエントリーサインが無く何もできなかった。

こういうじり上げは何もできない。機会損失を受け入れることもできた。

振り返ったら入っけばよかったねとなるが、どうしても自分のやり方的に取れる動きではないからOK。上昇が終わった後も、押し目なのか下落トレンド入りしたのか確実になかったためエントリーしなかった。

今日は待つことを徹底できたので良かった。

しかし、チャンスまで待てるけど、チャンス箇所で損切となった後のストーリーを明確にできていない弱さを感じた。そこで損切後の再エントリー方法を統一化することにした。今日の動きはこれで取れてる。検証を続ける